報 道 資 料

平成24年5月22日（火）

件 名 岩国基地に関する協議会（第7回）の開催について
概 要 このことについて、下記のとおり開催しましたのでお知らせします。

記

1 日 時 平成24年5月22日（火）14：30～16：15

2 場 所 岩国市役所 特別会議室

3 主な出席者

岩国市：岩国市長	福田良彦（ふくだ よしひこ）
政策審議官	村田光洋（むらた みつひろ）
基地政策担当部長	杉岡匡（すぎおか ただし）
国：中国四国防衛局長	辰己昌良（たつみ まさよし）
中国四国防衛局企画部長	藤代誠（ふじしろ まこと）
山口県：総務部理事	小松一彦（こまつ かずひこ）

4 概要

（1）地域振興策等

① 地域振興策4事業の計画及び進捗状況

- ・市は、地域振興策4事業（まちづくり支援事業・ごみ処理施設・楠中津線・昭和町藤生線）について、関係住民の生活の安定と福祉の向上に寄与するため、今後とも、国の補助金を活用し、計画的かつ円滑な実施を図っていく。
- ・市は、今後とも事業が円滑に実施されていくよう、国の継続的な支援を要望し、中国四国防衛局は、「市と緊密に連携しながら最大限努力していく。」と回答した。

② 平成23年度及び平成24年度補助金等執行状況

- ・再編交付金については、特に再編の影響を著しく受ける区域において、優先的かつ重点的に事業を実施する必要がある。
- ・市は、引き続き防衛省の補助金等を活用し、関係住民の生活の安定と福祉の向上に寄与するために必要な事業を実施していく。
- ・市は、今後とも事業が円滑に実施されていくよう要望し、中国四国防衛局は、「市と緊密に連携しながら最大限努力していく。」と回答した。

③ 川下地区における補助金等執行状況及び川下地区まちづくり計画の進捗状況

- ・市は、今津川・門前川の護岸強化について、ハード事業の基金造成についても交付対象となった再編交付金を活用して、計画的に進めていく。
- ・市は、国による川下地区への貢献を評価しつつ、川下地区連合自治会、川下地区まちづくり協議会等からの要望も踏まえ、川下地区が落ち着いた暮らしやすいまちとなるよう、着実にまちづくりを進めるため、今後とも、具体的な計画について調整していきたいと述べたところ、中国四国防衛局は、「市からの具体的な要望を踏まえ、積極的に取り組んでまいりたい。」と回答した。

（2）住宅防音工事の拡充

- ・市は、告示後住宅の防音工事を含め、住宅防音工事のために相当の予算が確保

- されたことについて一定の評価をしつつ、未実施世帯の工事が早期に完了するよう、一層の事業促進について要望し、中国四国防衛局は、「現下の国の厳しい財政事情の下、住宅防音事業に積極的に取り組んでおり、今後とも努力を継続したい。」と回答した。
- ・市は、現下の財政状況が非常に厳しいことに理解を示しつつも、市民の安心・安全を確保するため、住宅防音工事の更なる拡充について要望し、中国四国防衛局は、「住宅防音工事の更なる拡充は厳しいものがあると認識しているが、市の要望は本省に伝えてまいりたい。」と回答した。
- (3) 航空機の騒音規制措置
- ・市は、岩国飛行場における航空機の騒音規制措置に関して、日米両政府間で正式な協議が開始されたことを歓迎・評価しつつ、早期に明文化することを要望した。
 - ・市の要望に対し、中国四国防衛局は、「米軍の運用に関わることから、困難な事情はあるものの、引き続き、日米間で協議してまいりたい。」と回答した。
- (4) 日米交流事業
- ・2月18日に岩国市民会館で開催された「IWAKUNI日米交流合同コンサート」には約1,000名もの観客が来場し、参加者や観客、関係者から高い評価を得た。
 - ・中国四国防衛局主催の平成24年度日米交流事業については、昨年度の実績を踏まえ、参加者等の拡大を含め、今後、市、山口県及び米海兵隊岩国航空基地等と調整を図っていく。
 - ・市及び山口県は、事業の効果をより高め、円滑に実施できるよう支援と協力をを行う。
- (5) その他
- ① 岩国基地工事の地元企業受注状況
- ・「地域評価型総合評価方式」や「地域優良企業活用特定JV制度」の導入等の取組により、平成23年度の地元企業受注実績が大幅に増加した。
 - ・市は、地元企業受注実績が大幅に増加していることを評価しつつ、更なる国の努力を要望し、中国四国防衛局は、「引き続き、地元企業の入札参加や下請け契約が促進されるよう努力してまいりたい。」と回答した。
- ② 工事関係車両による渋滞緩和対策
- ・中国四国防衛局は、従来から講じてきた対策に加え、3月20日より、基地内における工事区域の一部をフェンスで囲い、工事特別区域を設定して、当該区域に入場する工事車両に対する業者門での車両検査をなくした結果、入場車両による滞留が低減している。
 - ・市は、工事関係車両による渋滞が緩和されていることを評価しつつ、今後予想される工事最盛期における対策を要望し、中国四国防衛局は、「渋滞状況の推移を踏まえ、市とも緊密に連携しつつ、引き続き渋滞緩和に努めてまいりたい。」と回答した。
- ③ 航空機騒音の状況
- ・中国四国防衛局・山口県・市は、市内に騒音測定器を19基設置（局10基、県4基、市5基）し、岩国飛行場周辺の航空機騒音状況の把握に努めている。
 - ・新滑走路運用開始後、平成22年6月から平成24年3月までの1年10箇月間の航空機騒音の状況は、市内の全ての地点においてW値が減少し、滑走路移設による騒音軽減傾向が継続していた。

- ・ 今後とも測定を継続し、騒音状況の把握に努める。
- ④ 安心・安全共同パトロール
 - ・ 市、山口県及び中国四国防衛局は、米海兵隊岩国航空基地の協力を得て、今後とも継続して安心・安全パトロールを実施する。
- ⑤ セーフティブリーフィング
 - ・ 本年も、米軍主催のセーフティブリーフィングにおいて、中国四国防衛局長や岩国市長による説明の機会が得られるよう、中国四国防衛局は米軍と調整を行う。
- ⑥ 川下旭運動広場の整備状況
 - ・ 川下旭運動広場においては、ソフトボール場2面及びサッカー場1面の利用が可能となり、スポーツ・レクリエーション及び国際交流が行える多目的な運動広場として活用していくこととしている。
 - ・ 市は、平成24年度中の供用開始を目指して川下旭運動広場の整備を着実に進め、中国四国防衛局は、できる限り協力する。
- ⑦ 民航再開に向けた取組状況
 - ・ 市及び山口県は、岩国錦帯橋空港の開港に向けた取組を紹介しつつ、年内開港の実現、5月中の開港日決定、利便性の高い運航時間帯の確保等について、より一層の国の協力を要望した。
 - ・ 中国四国防衛局は、「2012年度中の民航再開に向けて、引き続き、民間航空機の運航時間帯や運航に必要な滑走路の共同使用手続等について、関係機関と緊密に調整していく。」と回答した。
- ⑧ 緊急時（航空事故等の発生）における連絡通報体制
 - ・ 中国四国防衛局・山口県・市は、三井化学(株)岩国大竹工場で発生した爆発・火災事故を踏まえ、航空事故等が発生した場合の関係機関相互間の連絡通報が円滑に行われる必要性を再確認した。
 - ・ 今後とも定期的に通報訓練を実施し、「米海兵隊岩国航空基地周辺地域航空事故連絡協議会」で定められている緊急時の連絡通報体制が確実に機能するよう努める。

5 市長コメント

安心・安全対策について国・県・市が共同して問題解決を図ることを目的に設立した本協議会も今回で7回目の開催となった。

本日の協議会においては、安心・安全対策に関連して、主に住宅防音工事の拡充、航空機の騒音規制措置などについて協議を行ったが、進展があったものについては評価する一方、現在の状況も確認しながら、まだ達成できていないものについては改めて国に要望した。

国においては、本日の協議項目はもとより、安心・安全対策の中の達成できていない項目について、引き続き、誠意を持って取り組んでいただきたいと考えている。また、地域振興策4事業及び川下地区まちづくりに関しては、国の支援を得て、少しずつ前進しているものと受け止めている。国の継続的な支援をお願いするとともに、市としても、事業の円滑な実施に努めてまいりたいと考えている。

今年度開港予定の岩国錦帯橋空港については、現在の取組状況を報告したが、米軍との調整など、引き続き国の支援をお願いした。市としても、1日も早い開港を目指し、全力で取り組んでまいりたい。

今後とも、市民の安心・安全の確保に全力を傾注し、多くの市民に納得のいくよう

な結果を出すべく努力してまいり所存である。

なお、海上自衛隊の岩国残留の早期の決定及びF A - 1 8スーパーホーネットによる試験飛行の実施について、改めて要望させていただいた。

岩国市総合政策部基地政策課 TEL 0827-29-5024 (直通)